

【第92回ラジオ番組審議会議事録】

1 開催日時

令和4年7月26日(火) 16時～17時

2 開催場所

BAN-BANネットワークス本社 1F会議室

3 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 4名

出席委員の氏名 遠藤由美子 島崎純子 畠 善秀 山尾昌弘
(五十音順、敬称略)

放送事業者側出席名 山根直也 大竹良次 藤井良一 江村直樹 石川麻優

4 議題

ラジオ番組「じもラジ火曜日」

放送日時：令和4年6月28日(火) 16時～19時

パーソナリティ：KENT

- 【質問内容】
- ・番組全体の印象をお聞かせください。
 - ・各コーナーの意図は伝わりましたか。
 - ・その他、お気づきの点をお聞かせください。

5 議事の概要

- ・番組審議は、事前に番組視聴の上、議題について話し合った。

6 審議の内容

- BAN 司会 それでは、審議を始めます。まずは、今回審議していただく「じもラジ火曜日」について、番組担当からご説明します。
- 担当次長 今回は、月曜日～木曜日の16～19時まで生放送でお届けしている帯番組「じもラジ」から、「じもラジ火曜日」を審議していただきます。火曜日担当のパーソナリティはKENTさんです。KENTさんは地元出身のマジシャンです。番組を担当する以前にゲストとして出演していただき、公民館単位で行う子ども向けのマジック教室などの活動についてお話をさせていただきました。これがきっかけで、地元在住でお喋りが上手なことから起用に至りました。プロのプロダクションのタレントではなく、素人からここまで上がってきた喋り手です。番組をお聴きいただいて、お気づきになられた点をお聞かせください。お願いいたします。
- BAN 司会 では、審議を始めます。今回は「番組全体の印象」「各コーナーの意図は伝わったか」「その他、お気づきの点」という3点についてご意見をいただきます。よろしくお願いいたします。
- A 委員 最初、何の話をしているんだろう？と思いました。聞いていくと、河川敷でKENTさんが主催した大道芸フェスティバルの話だったと分かりました。一度聞いただけでは分からない人もいたのではないのでしょうか。ゲストコーナーの内容は良く分かりました。トーク中、「月曜とは違うやろ！」というセリフが何度も出てきたので、月曜も聞いてみないとないと思いました。
- 声のトーンは聞きやすいと思いました。ターザン山下さんに近い感じを受けました。言葉の端々に聞き取りづらいところもありました。私たちが普段慣れ親しんでいる播州弁のトークなので、地元の人には聞きやすかったと思います。
- BAN 司会 毎回お馴染みのリスナーさんも多いので、説明が抜けてしまった部分があるのかも知れません。
- B 委員 通勤の車で普段から聞いていて、番組の雰囲気は知っています。ヘビーリスナー向けの話し方というか、普段聞いている人には分かる内容だと思いました。播州弁は馴染みがあっていいですね。
- 「マインドパス」のコーナーは、昔はもっと分かりにくかったように思います。最近はお題中にヒントが散りばめられて、分かりやすくなっていますね。回を重ねる中で色々な人からの声を反映して改善したのを感じました。今回のゲストはノークアウトの佐々木さんで、マッスル系の話でした。ゲストの話が上手く、KENTさんの運びも良く、理論の話など面白い内容でした。ただ、普段身体を鍛えていない素人への配慮もあれば、そういう人たちの心もつかめたのではないかと思います。
- 番組後半、上半期を振り返るトークの中で、戦争の話が出ました。言論の自由はありますが、「上の人を挿げ替えたなら済むじゃないか」と言わ

れていて、いただけないと思いました。その国に住んでいる人は、トップが変われば主義や生活も変わってしまいます。色んな人が聞いているので配慮が欲しいです。「実際にウクライナの人が聞いたらどう思うだろう」と感じました。今起こっている事柄について話すときは配慮が必要だと感じました。

先ほど話に出た「月曜とは違うやろ！」というセリフは、お互い盛り上げていこうという意図なんだと思いますが、言い過ぎると陰があるのではないのでしょうか。

BAN 司会 担当次長 他の曜日やパーソナリティを話題に出すことは良くあるのでしょうか。月曜日の水木さんや(以前一緒に番組を担当していた)北原真紀さんの話題は多いです。月曜日のリスナーが火曜日を聞いたり、その逆もあるので、相乗効果を生んでいると考えています。

BAN 司会 戦争の話については、「首脳だけで戦って…」と半分笑いながら話していて、内容が軽かったと思います。公共の電波ですべき話ではなかったと思います。KENTさんのキャラクターに関してはいかがですか。

B 委員 KENTさんが担当している金曜日の朝の番組も聞いていて、耳に馴染んできていると感じています。とても聞きやすいです。

C 委員 「マインドパス」のコーナーに困惑しました。パーソナルトレーナーの方がたまたま知っている人だったので分かりましたが、そもそも「パーソナルトレーナー」という言葉がどこまで浸透している言葉でしょうか。KENTさんがフォローしようとしているのは感じましたが、改めてのこういったものなのか説明が欲しいですね。茅の輪くぐりの話題の時も、「八の字のやつ」と話されていて、分かりづらかったです。

この番組に限りませんが、ボケ回答は必要でしょうか。パーソナリティとリスナーとのやり取りが地元のラジオ局という感じでほのぼのとはしますが、面白い物ばかりではないので、ボケ回答全てを紹介するのではなく、バランスを取っても良いのではないのでしょうか。

担当主任 ボケ回答がクイズのヒントの役割も果たしています。面白いものもあれば分かりづらいものもありますが、リスナーが頭をひねって投稿してくれたものは、どれも同じ重さで扱えたらと思っています。また、パーソナリティとリスナーの2WAYのやり取りに対して、ボケ回答があることで、「〇〇さんのボケ回答のお陰で分かりました」というようなお便りが別のリスナーから来ることもあります。パーソナリティがハブの役割を果たして、リスナー同士が繋がるボケ回答は非常にラジオらしいやり取りだと考えます。

担当次長 ボケ回答は関西ならでは。東京では成立しないと思います。

D 委員 皆さん言われるように聞きやすい声だと思いました。全体の流れも聞きやすかったが、その分印象が薄かったです。トークの中で、誰かが相槌を打っていますが、中途半端に感じました。アシスタントであれば紹介が必要ですし、トークを盛り上げるような上手い相槌を打った方が良い

のではないのでしょうか。

前半のトークで飲み会の話があって、「飲みに行ったら仕事の話をしたくないから行かない」「付き合いをしない」というような話が出ていました。結構長くその話をされていたので、前向きな話ならいいのですが、ネガティブなワードはプロとして言わない方がいいのではないのでしょうか。違和感を覚えました。

また、ポイント制度で0.5ポイントのようなかなり細かいポイントでしたが、そんな制度があるのでしょうか。

担当主任 リスナーとのやり取りの中での遊びとしての言い回しです。

BAN 司会 相槌は番組のミキサーの方ですね。

担当次長 そうです。深夜ラジオにもよくある手法の演出です。

BAN 司会 そのほか、ご意見はございませんでしょうか。

D 委員 KENT さんはマジシャンということなので、マジックに特化したコーナーがあっても良いと思います。

BAN 司会 ありがとうございます。

他にご意見がなければ、審議は以上とさせていただきます。

本日もたくさんのご意見ありがとうございました。

7 審議機関の答申又は改善意見に対して採った措置およびその年月日

なし

8 審議機関の答申又は意見を公表した場所における公表内容、方法、年月日

公表内容・・・審議の内容

公表方法

- ・事務所に備置き 令和4年8月4日～
- ・番組「あさスパ!」において放送 令和4年8月4日(木)
- ・ホームページに掲載
令和4年8月4日～

9 その他参考事項

なし